

# 2024年度 防災・BCP実務研修会開催結果について

◇日時 2024年7月30日(火) 午後2時から午後4時まで

◇場所 ウィンクあいち 会議室 (ハイブリット開催)

◇主催 防災委員会幹事会

◇研修会目的

県連及び会員生協の自然災害に備える防災、減災対策推進、  
役職員の防災意識向上、BCPの再点検を目的として開催

◇本年度趣旨

能登半島地震における実体験などを参考に、近い将来に起こると  
言われている南海トラフ地震への備えを学び、考える

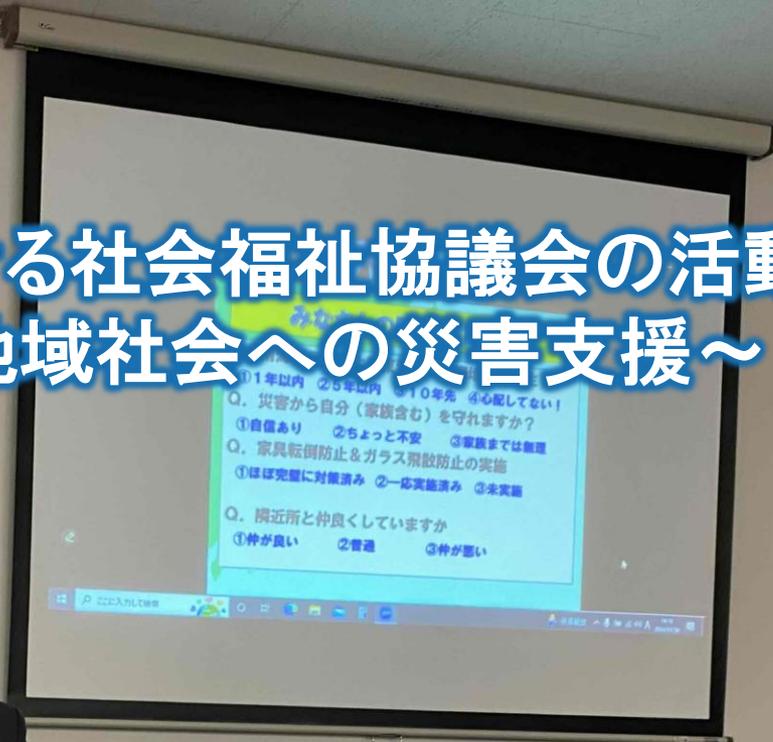
◇参加 24名(13生協21名、事務局3名)

東海コープ2名、みなと医療1名、南医療1名、トヨタ車体1名、愛知県職員1名、  
かりや愛知中央3名、名古屋市民火災共済1名、愛知県警察職員1名、  
あいち4名、大学事業連合1名、トヨタ2名、アイチョイス1名、一宮2名

# ◆研修会①

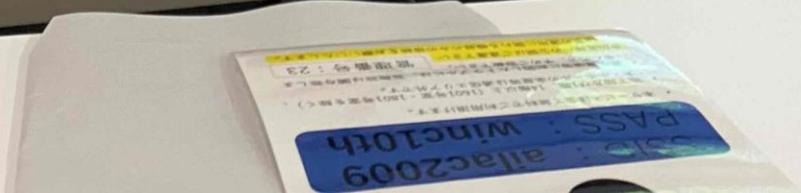
## (1)講演タイトル

### 「能登半島地震における社会福祉協議会の活動」 ～企業のBCPと地域社会への災害支援～



## (2)講師

愛知県社会福祉協議会ボランティア運営委員会委員長  
同災害対策支援部会 部会長 鈴木 盈宏 様



### (3)講演内容

#### ①社会福祉協議会の役割・支援活動

- ・公での対応限界から公設民営型災害ボランティアセンター運営
- ・ボランティアの受入れと被災者のニーズをマッチング

#### ②能登半島地震における被災の現状と課題

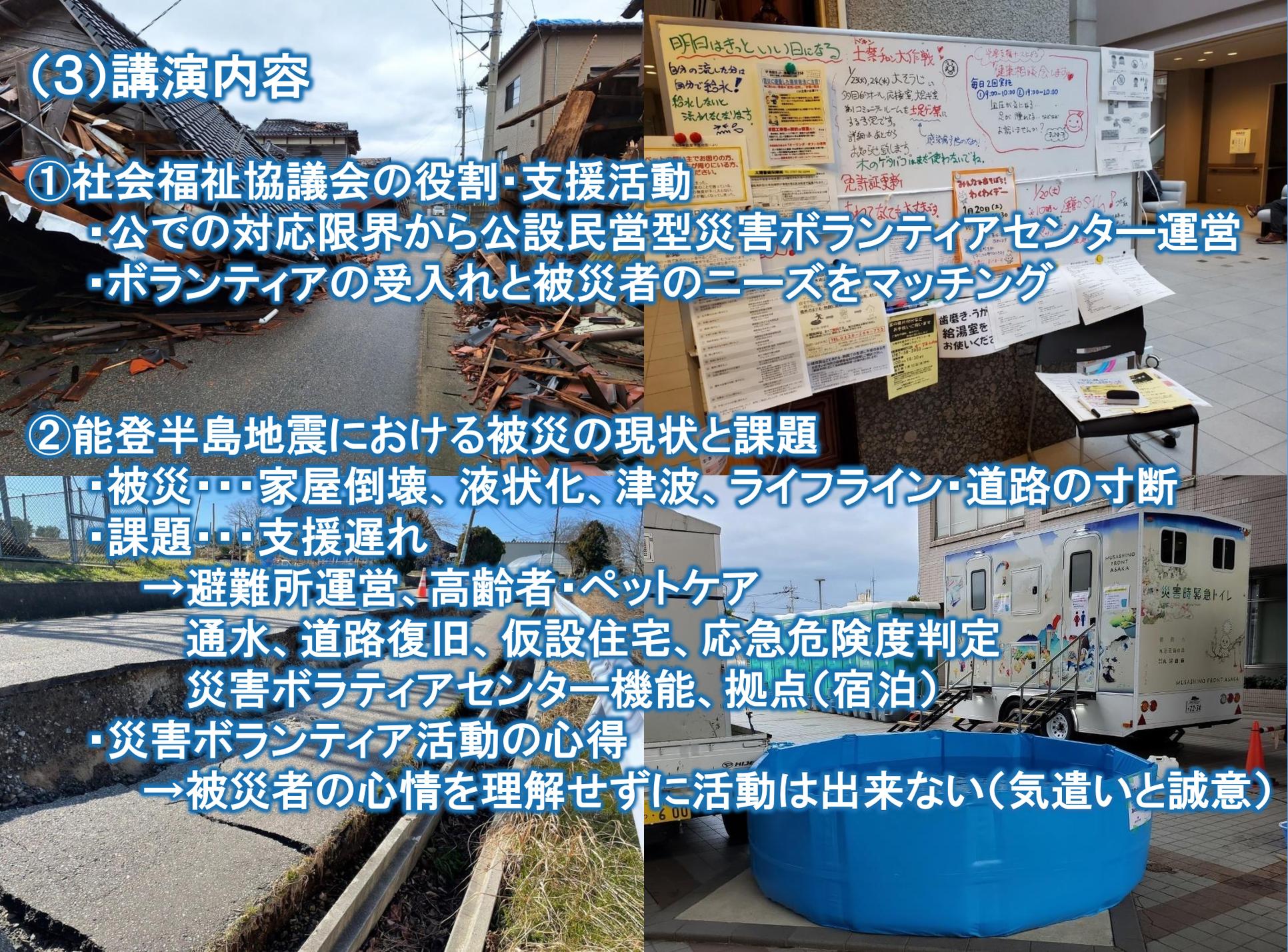
- ・被災・・・家屋倒壊、液状化、津波、ライフライン・道路の寸断
- ・課題・・・支援遅れ

→避難所運営、高齢者・ペットケア

通水、道路復旧、仮設住宅、応急危険度判定  
災害ボランティアセンター機能、拠点(宿泊)

- ・災害ボランティア活動の心得

→被災者の心情を理解せずに活動は出来ない(気遣いと誠意)



### ③地震のメカニズム・南海トラフ地震の被害規模

・被災予測・・・5900万人、死者数32万3000人 ※東日本大震災1万5900人

→全国の1/3が被災

・避難所に押し寄せる人・・・950万人

→全国のペットボトルの水が5日間で無くなる

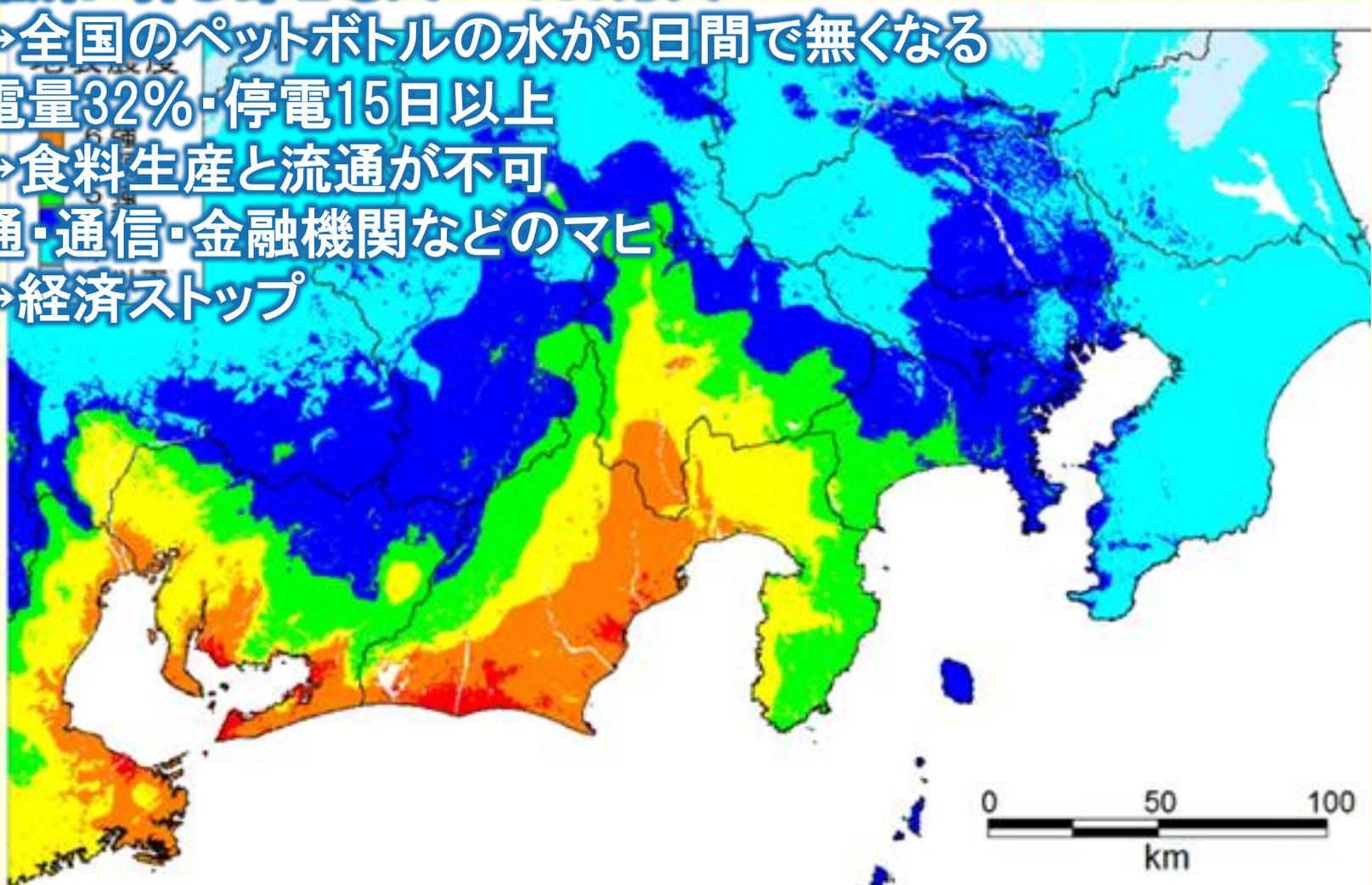
・発電量32%・停電15日以上

→食料生産と流通が不可

・交通・通信・金融機関などのマヒ

→経済ストップ

地表震度



#### ④企業におけるBCP優先順位

- ・ア.人命(人道支援)、イ.被災地の早期復旧、ウ.自社の業務

#### ⑤生協連・生協に求められるもの

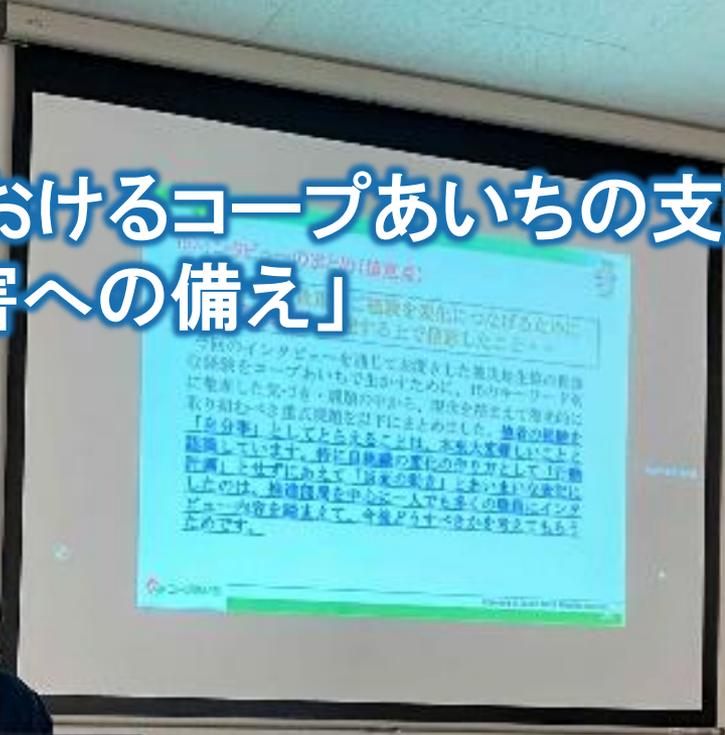
- ・平時から備える、被災後の対応を考えておく
- ・強みを活かしたネットワークづくり
- ・対応スキルをもつ災害ボランティアコーディネーターの育成
- ・物的支援の準備(施設等の開放、資機材提供)
- ・行政・社協・民間の連携、災害応援協定締結



## ◆研修会②

### (1)講演タイトル

「能登半島地震におけるコープあいちの支援活動」  
「今後起こる大災害への備え」



### (2)講師

生活協同組合コープあいち  
組合員活動支援部 宇野 琢朗 様

### (3)講演内容

#### ①能登半島地震におけるコープあいちの支援活動

・金銭的・物的支援

→組合員・職員募金、緊急稟議(RSYの炊き出し費用)など

・人的支援

→日本生協連の支援呼びかけに参加

宅配支援、福祉支援、災害VC運営支援

#### ②今後起こる大災害への備え

・全国17の被災生協・生協連へインタビュー

→15の気づき・課題から5つの重点課題

ア.つながりづくり

イ.職員の災害支援活動、職員のボランティア活動

ウ.組合員のボランティア活動

エ.ボランティアセンター等への無償支援、支援団体への支援

オ.BCPの継続的な見直し